

# 第1次 始良市総合計画

2012～2018

県央の良さを活かした、県内一くらしやすいまちづくり

概要版



# 第1次 始良市総合計画の策定にあたり

## 人と人とのつながりや 『こころ』の結びつきを大切に



私たちのまち始良市は、平成22年3月に、加治木・始良・蒲生の3町が合併して誕生し、県内で19番目の新市として、新たなまちづくりの歴史が始まりました。

本市は、県本土のほぼ中央部に位置しており、道路、鉄道、港などの恵まれた交通環境や、美しく豊かな自然環境と県内有数の史跡が存在するとともに、子育てや教育、地域づくりなど、各分野に豊富な人材を有しており、地域の特性を踏まえたさまざまな施策を積極的に展開することで、さらなる発展の可能性を秘めたまちであると考えております。

このたび、市民の皆様から数多くのご意見、ご提言をいただき、また話し合いを重ねながら、本市の確たる礎を築き、今後のまちづくりの指針となる「第1次始良市総合計画」を策定しました。

これは、始良市が行う各種事業の最上位に位置する計画であり、本市が向かうべき方向を明らかにしたまちづくりの最も基本となる計画です。

この「概要版」は、広く市民の皆様や各種団体および民間企業の皆様へ、これからのまちづくりをお知らせするためにまとめたものです。

人と人とのつながりや『こころ』の結びつきを大切にしながら、ともに支え合い、思いやりのあるまちづくりを進めることで、くらしやすさを実感できるよう、全力で取り組んでまいります。

平成24年4月

始良市長 筈山 義弘

## 目次

総合計画の仕組み	1	地域の特性を活かしたまちづくり	
始良市の特性、社会環境		○ 南部地域	7
○ 市民が望んでいることは	2	○ 中部地域	8
○ 本市が持っている潜在的な可能性	3	○ 北部地域	9
まちづくりの基本理念		総合計画の体系図	10~11
○ めざしていく将来人口	4	重点プロジェクト	12
○ 将来像	5~6	前期戦略プロジェクト	13

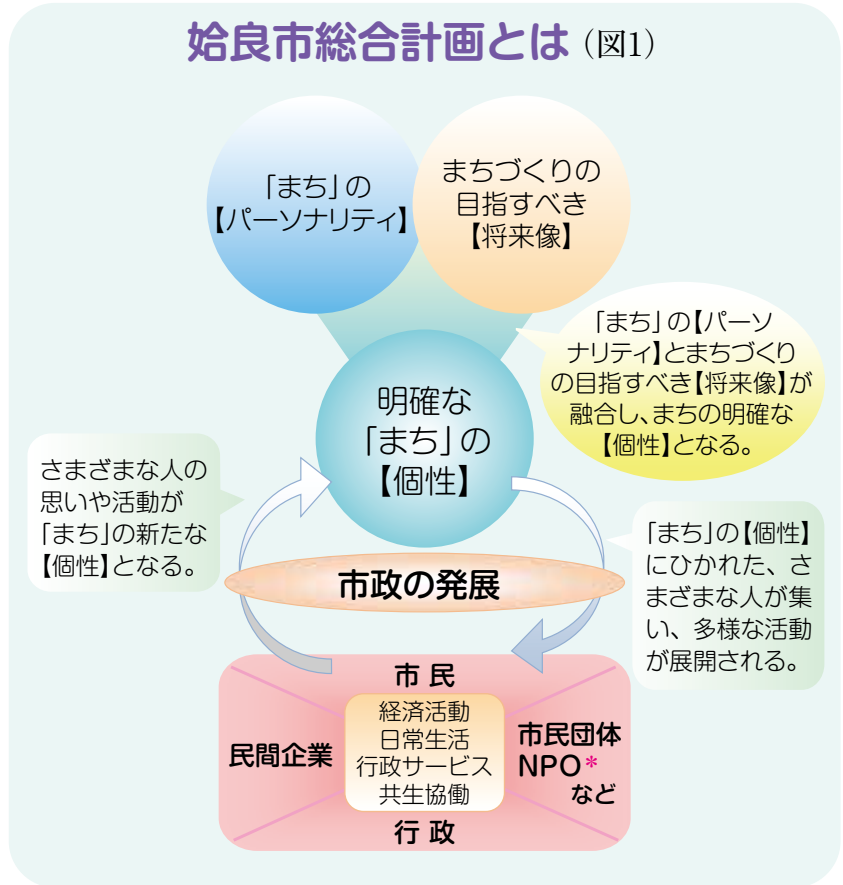
# 総合計画の仕組み

## 総合計画とは…

始良市の「まち」のパーソナリティ（人格）の在り方とまちづくりの目指すべき将来像を示し、「まち」の個性を明確にするるとともに、当該計画の終期までの7年間に総合的に取り組むべき施策の柱を定めることにより、行政と民間が相互に補完し合いながら市政が発展するための指針となるものです。

また、本計画は合併時に策定された「新市まちづくり計画」、住民意識調査や市内16か所で開催した行政座談会、まちづくり50人委員会等で出された市民の皆さんからのご意見、ご提言、課題と社会経済状況の変化や今日的な問題を踏まえ策定しました。（図1）

始良市総合計画とは（図1）



## 総合計画の基本的な考え方は…

### 地域の特性を活かした計画づくり

自然環境や文化、歴史などの多様な地域特性を活かし、画一的な活性化を進めるのではなく、地域の中にある特長、景観等にも配慮した計画としています。

### 合併効果を活用した計画づくり

市全体の一体感、統一感をさらに醸成しつつ、これまでの旧3町における課題や問題点等を整理し、新市としての視点で解決しながら、サービスを全域に広げ、効率的かつ将来にわたる計画としています。

## 総合計画の構成と期間は…

**基本構想**…まちづくりの基本理念と市の将来像を掲げ、それを実現するために取り組む基本的な枠組みです。

計画期間：平成24年度から平成30年度までの7年間

**基本計画**…基本構想で掲げた将来像を具体的に示し、それを実現するために進めていく取り組みや、計画を着実に推進していくための考え方を示しています。

計画期間  
 ・前期基本計画：平成24年度から平成26年度までの3年間  
 ・後期基本計画：平成27年度から平成30年度までの4年間

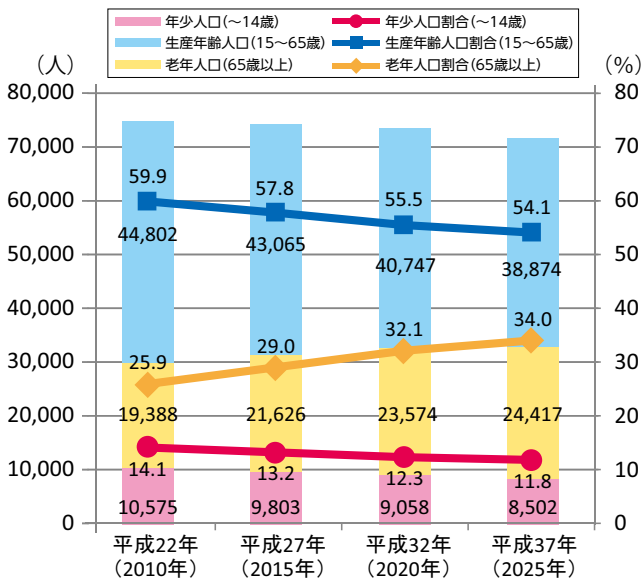
**実施計画**…基本計画で示された施策の体系に基づいた、具体的な事務事業の内容で、年次別の3か年計画を策定し、毎年度見直しを行います。

年度	24 (2012)	25 (2013)	26 (2014)	27 (2015)	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)
基本構想	← (7年間) →						
基本計画	← (3年間) →			← (4年間) →			
実施計画	← →	← →	← →	← →	← →	← →	← →

\*NPO…Non-Profit-Organization（非営利組織）の略語で、営利を目的とせず、社会貢献を目的として活動する民間の団体のことをいう。市民活動団体やボランティアグループ、自治会等もNPOに含まれる。

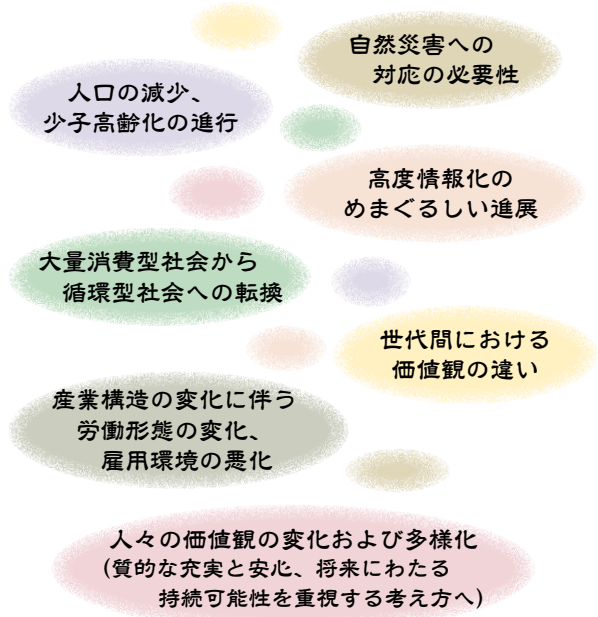
# 始良市の特性、社会環境

## ● 人口推計による本市の人口は…



※国立社会保障・人口問題研究所が、平成17年の国勢調査を基に、平成20年12月に推計した平成17年から平成37年における市町村別の将来人口推計による。

## ● 現在の社会情勢は…

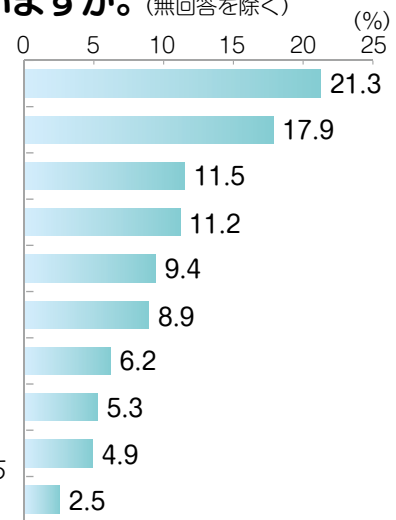


## ● 市民が望んでいることは…

総合計画策定に係る住民意識調査より(平成22年度実施)

### ◎始良市をどのような特色のあるまちにしたいと思いませんか。(無回答を除く)

- 人にやさしい保健・医療・福祉の充実した健康・福祉のまち
- 安全・安心で快適な居住環境の整備を優先する快適住環境のまち
- 商店街の振興や地場産業の育成、企業誘致による商工業のまち
- 子育て環境や子どもの保育・教育環境が充実した子育て・教育のまち
- 自然保護や環境の保全を優先する環境保全のまち
- 住民と行政とが協力してまちづくりを行う住民参画・共生協働のまち
- 観光資源や交通アクセスの向上による観光・交流のまち
- 歴史・文化を大切に、まちづくりに活かす歴史のまち
- 生涯学習や文化芸術・スポーツ活動が活発な生涯学習・文化・スポーツのまち
- 農林水産業を中心として発展するまち



\*コミュニティ…居住地域を同じくし、利害をともしする共同社会。町村・都市・地方など、生産・自治・風俗・習慣などで深い結び付きを持つ共同体のこと。

## ● 本市が持っている潜在的な可能性

### 県央の良さ、得意な分野を活かして

#### 県央の都市としての交通の利便性

- ・九州縦貫自動車道とジャンクション、2か所のインターチェンジ。
- ・国道10号および主要県道が通る。鹿児島市まで約25分、薩摩川内市まで約60分、鹿児島空港まで約20分
- ・JRの5つの駅。
- ・商業港として、5,000 t級の船舶の停泊が可能な加治木港。

#### 豊かな自然に囲まれた環境

- ・森林から丘陵、平野および海岸に至る地勢。
- ・思川、別府川、網掛川等の主要河川が流れ、鹿児島(錦江)湾に注ぎ、桜島を望む景観を有する。
- ・世界有数の地形で、国内最大級の海域カルデラ景観を持つ始良カルデラは、「霧島錦江湾国立公園」として国立公園化。

#### 恵まれた教育環境

- ・市立小学校18校(休校2校を含む)、市立中学校5校、県立高等学校3校と私立高等学校1校、県立の養護学校および高等技術専門学校と私立の看護専門学校や建設専門学校がある。
- ・小学校の一部では、やまびこ留学制度\*や特認校制度\*を導入。

#### 豊かな人材の宝庫

- ・深く幅広い経験、知識、技術を持つ市民が居住。地域づくりや今後のまちづくりにとって必要不可欠。

#### 県内一の数を誇る史跡

- ・国指定文化財の蒲生のクスをはじめ、大口筋白銀坂・龍門司坂など194件の文化財。

#### 国・県の主要機関の集積

- ・税務署、検察庁、年金事務所や始良・伊佐地域振興局など。

\* **やまびこ留学制度**…漆小学校において、市外、県外を問わず、小学校3年生から6年生の希望児童を対象に、小規模校ならではのきめ細やかな少人数指導や豊かな自然の中での体験学習などを味わわせるために、親元を離れて里親として登録されている漆小学校の家庭で預かり、そこから学校に通う制度のこと。

\* **特認校制度(小規模校入学特別認可制度)**…自然環境に恵まれた小規模の学校で、心身の健康増進を図り、豊かな人間性を培いたいという保護者・児童の希望がある場合に、通学状況や生活指導面など教育的な配慮のうえ、一定の条件の下に、市内に住んでいる児童が、通学区域に関わりなく、入学(転学)できる制度のこと。

# まちづくりの基本理念

## 県央の良さを活かした、 県内一くらしやすいまちづくり

基本理念は、まちづくりを行っていくうえで、最も重要な基本姿勢であり、また、長期にわたって目指すべき方向性と本市独自のまちづくりの在り方を示すものです。

本市は、自然災害から市民を守り、県央に位置する利便性や、自然の恵み、豊富な人材による知徳を活かしながら、都市的な機能と田園が融合したまちとして、本市の持つ潜在的な可能性を活かし、持続的に発展させるために、市民と一体となった、多様性豊かな魅力あるまちづくりの基本理念を「県央の良さを活かした、県内一くらしやすいまちづくり」とします。



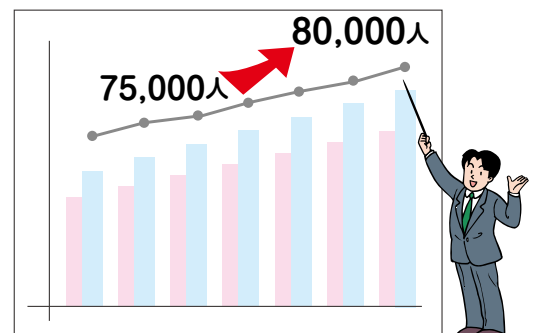
この基本理念の背景には、地域の一体感だけでなく、心的一体感もあるまちとするために、人々が勝手気ままでない自由を有し、寛容と思いやりの心を持って市民同士が接し、「人は『こころ』でつながっている」ということを大切にすることが、暮らしやすさにつながると同時に、多様性豊かで魅力を持ったまちづくりを可能にしていくとの思いが込められています。

### めざしていく将来人口

# 80,000人

- ・現在の人口規模の維持が目標ではありません。
- ・限られた財源の中で、多くの施策の中から「選択と集中」を行い、民間からの投資も誘導し、そして多様な人々を受入れる寛大さを持ちながら、協働によるまちづくりを行うことが大切です。

これからは投資することだけでは得ることのできない、まちづくりの在り方が必要です。



## 将来像

基本理念に掲げたまちづくりの在り方を実現するため、目指していくまちの姿を、政策分野ごとに具体的に示しました。

### 市民・地域と行政が協力しあい、 一体感あふれるまち



市民一人一人が、男女共同参画\*の考え方の下、新しいまちづくりの主演として、ともに支え合い、助け合いながら、さまざまな人々や行政、その他の主体と協働する環境が生まれ、自治会やNPO等を中心とした市民の市政への参画が進み、幅広く市民の意見が行政に反映される協働のまちづくりを進めます。

### 子どもを安心して生み育てることが できる、子育て支援のまち



始良市民の宝である子どもたちが、家庭や地域に見守られながら、健やかに成長することができ、また、保護者が、子どもが生まれ成長していく過程に喜びを感じ、安心して子育てができるような、子育てを支援するまちづくりを進めます。

### 豊かな人間性を育むまち



子どもから大人まで一人一人が個性を大切にしながら、お互いを尊重し合い、生きる力と豊かな人間性を育み、生きがいを持つことができる、教育、学習、歴史・文化、スポーツ・レクリエーションなどの活動の充実したまちづくりを進めます。

### 生涯すこやかで、ともに支えあい、 いきいきと暮らせるまち



市民一人一人が、健やかに自分らしい生活を送ることができ、誰もが笑顔で生きていくため、保健、医療、福祉サービスを充実させ、お互いに支え合いながら、家庭や地域の中で安心して暮らせるまちづくりを進めます。

\*男女共同参画…性別で役割を決めつけたり、性別に基づく社会のしきたりによる不平等を解消し、男女が互いに人として自由に活動し、互いに尊重しあう質の高い生活を送るため、男女があらゆる分野でともに参画すること。

## 快適で暮らしやすいまち



豊かな自然環境と県央の利便性をさらに活かし、自然災害から市民を守り、消防、救急などに迅速に対応できる体制を備え、交通安全や防犯を推進しながら、地域間を結ぶ道路網の整備や住宅対策、生活排水対策、森林や海岸の保全と活用を図り、質の高い住環境を備えたまちづくりを進めます。

## 地域資源を活かした活力ある産業の育つまち



農林水産業をはじめ、商工業、観光を含めたサービス産業がお互いの持ち味を活かしながら、ともに協力し合い、地域の歴史や文化に育まれた地域資源を活用することで、地域経済を活性化させ、多様な就業機会を創出し、市民の豊かな暮らしを支え、市全体の活力につながるまちづくりを進めます。

## 環境にやさしく、豊かな自然と共生・調和するまち



豊かな自然環境を守り育て、ごみの減量化や資源の再利用、生活排水の適正な処理を継続することで、環境に負荷をかけない暮らしを推進し、森林や農地などの生産基盤整備と環境保全とのバランスのとれたまちづくりを進めます。

## 経営感覚を持った行財政運営のまち



市民への情報公開や個人情報の適切な管理を行いながら、市民に開かれ信頼される市政と、質の高い行政サービスを継続するために、常に市民の満足度の向上を目指し、限られた財源の中で、施策の選択と集中を行い、行政改革大綱に基づく健全な行財政運営に努めます。



# 地域の特性を活かしたまちづくり

地形、都市機能、地域資源などの共通要素や、地域の持つ課題等を考慮し、市内に南部、中部、北部の3つの地域を設定し、各校区や地域の特性も踏まえながら、将来の地域別のまちづくりの方向性を示しています。

## 南部地域

- ▶ 中心市街地は、利便性に優れた、生活・文化交流拠点として整備を推進し、市としての「顔」(核、コア)づくりに取り組みます。
- ▶ 国道10号を補完する始良地区と加治木地区を効果的に結ぶ道路等の整備、既存の幹線道路と道路計画の見直しを含めた幹線道路の整備を進めます。
- ▶ 狭あいな道路の改修を進め、交通安全の確保と緊急車両等の通行環境を改善します。
- ▶ 地域内に点在する空き家等の調査を地域とともに進め、既存の住宅ストックとしての活用や防災防犯の意識の啓発を図りながら、環境整備を進めます。
- ▶ 公園や緑地、河川等の維持・補修などの整備を進めることで「緑」による潤いのあるまちづくりを進めます。
- ▶ 市街地における生活排水等を将来にわたり適切に処理し、鹿児島(錦江)湾の水質を守るため、地域の状況を考慮しながら、合併処理浄化槽\*やコミュニティプラント\*、公共下水道等による適正な污水处理を図ります。
- ▶ 沿道市街地については、幹線道路沿いに商業やサービス施設を計画的に誘導し、中心市街地との連携を図り、快適さや楽しさを有する商業空間の形成を図ります。沿道住宅地については、幹線からのアクセス性の確保など居住環境の整備・充実に努めます。
- ▶ 既成住宅地や新市街地については、土地区画整理事業の推進や農地の保全および有効活用など、自然環境との共存の下で、安心して住み続けられる居住環境づくりを進め、秩序ある市街地の形成を図ります。
- ▶ 行政サービス機能の充実を図り、市民のみならず県民にとっても利便性を感じられるような施設の誘致を図ります。
- ▶ 地元商店街については、商工会や通り会等との連携を保ちながら、その存続と振興を図ります。
- ▶ 海岸部については、市の観光資源であり、市民も親しみを持つ重富海岸をはじめ、水辺環境の保全や整備、海岸への交通アクセスの充実を推進するとともに、各港の機能充実および水産資源の保全のため種苗放流や漁礁設置等を行い、水産業の振興を図ります。
- ▶ 内水面漁業は、河川の水質汚濁防止の啓発に努め、アユやウナギなどの稚魚放流による保護や繁殖を図ります。
- ▶ 市街地内に存在する史跡・旧跡を巡るまち歩き観光により、地域の活性化を図ります。



\* 合併処理浄化槽…し尿と生活雑排水を併せて処理する浄化槽。

\* コミュニティプラント…公的機関や民間開発者の開発行為による住宅団地などにおいて、し尿、生活雑排水を処理する施設。

- ▶ 市民の憩いの場、ものづくり体験の場や、地産地消\*の取り組みとしての市民農園や貸農園の整備を図ります。
- ▶ 国道10号の白浜・脇元間の4車線化とともに、白浜地区への災害時の一時退避場所の確保および整備に向けた取り組みを進めます。
- ▶ 九州縦貫自動車道の接続を向上させるため、スマートインターチェンジ\*の設置を要望するとともに、周辺地域の整備を図ります。
- ▶ 交通の利便性を活かした平松物流用地や須崎地区公共用地等への積極的な企業誘致により、新たな雇用の創出を図ります。
- ▶ 農林水産物および加工品の販売拠点の整備を図ります。

## 中部地域

- ▶ 主要地方道伊集院蒲生溝辺線、川内加治木線および鹿児島蒲生線による東西の幹線ならびに一般県道下手山田帖佐線、十三谷重富線、浦蒲生線の南北の幹線と集落間を結ぶ生活道路の整備を推進するとともに、市内のほぼ中央を横断的につなぐ幹線道路の整備を進め、新市として一体感を高めます。
- ▶ 地域農畜産業の振興対策として、優良な農業生産基盤の機能を維持しながら、有機農業者を含めた認定農業者や新規就農者等担い手への支援および確保、育成を積極的に進めます。
- ▶ 鳥獣被害対策への取り組みを推進します。
- ▶ 生活圏に食料品や日常生活用品を扱う商業施設を誘致し、公共交通機関の利便性を高めることを含め、市民生活に必要な機能を備えていきます。
- ▶ 市営住宅の建設や宅地整備を促進し、中心市街地近郊の利便性を活かした人口増に努め、市の新たな人口集積地域として整備を推進します。
- ▶ 生活排水対策として農業集落排水\*事業や合併処理浄化槽設置に努めます。
- ▶ 地域活力の中心となる学校については、地域住民とともに児童生徒数の維持増加に向けて積極的に取り組みます。
- ▶ 地域活性化のため、農林水産物等を活かした加工品づくりを推進するとともに、地域住民による農林水産物販売所への支援を行っていきます。



- ▶ 歴史的なまちなみや河川等の水辺を活かして、蒲生観光交流センターや地域のコミュニティ施設等を、まち歩き観光などの施策と連携させ、観光案内施設や休憩施設などとして提供し、交流人口の増加を図ります。
- ▶ 蒲生物産館「くすくす館」と地元商店街との連携を図り、活性化を積極的に支援し、交流人口の増加を目指します。
- ▶ 内水面漁業は、河川の水質汚濁防止の啓発に努め、アユやウナギなどの稚魚放流による保護や繁殖を図ります。

\* 地産地消…地域生産地域消費の略で、地元で生産されたものを地元で消費すること。

\* スマートインターチェンジ…高速道路の本線上またはサービスエリア (SA)、パーキングエリア (PA)、バスストップ (BS) に設置されているETC専用のインターチェンジ (IC) のこと。

\* 農業集落排水…農村集落におけるし尿、生活雑排水等の汚水、汚泥または雨水を処理する施設。

## 北部地域

- ▶ 学校を核とした地域づくりを、地域住民と行政が一体となって取り組みます。
- ▶ 主要地方道を中心とする東西を結ぶ道路整備を図り、生活道路のネットワーク化を推進します。
- ▶ 既存の施設を利用した体験型健康・福祉・文化活動交流拠点機能の強化と併せて、地域内での拠点機能を有する箇所には、市営住宅の建設を促進します。
- ▶ 農業振興の拠点として地域コミュニティ施設等の機能強化を図ります。
- ▶ 都市部住民との交流を深めるため、地域コミュニティ活動を支援し、グリーン・ツーリズム\*等の地域活性化のための地域住民の取り組みを支援します。
- ▶ 地域農畜産業の振興対策として、優良な農業生産基盤の機能を維持しながら、有機農業者を含めた認定農業者や新規就農者等担い手への支援および確保、育成を積極的に進めます。
- ▶ 鳥獣被害対策への取り組みを推進します。
- ▶ 安心して定住でき、暮らしやすい生活環境を維持していくため、幹線道路と連結する道路の整備により中心市街地や周辺集落への利便性を高めるとともに、買い物や通院の実情に応じたコミュニティバス等の運行見直しを随時行いながら、公共交通の利便性も高めていきます。
- ▶ 高齢者のみの世帯や高齢者独居世帯が多いことから、地域と行政による見守り体制の強化を図ります。
- ▶ 広大な森林は、空気の浄化や水源の涵養<sup>かんよう</sup>などの機能を有しています。そこで、美しい河川の環境を保全していくため、流域における水質悪化を招くおそれのある土地利用の規制と並行して森林の保全や計画的な育成を推進します。また、森林資源の適正な管理と担い手の育成に努め、本市の水資源としての保水力の向上を目指すための森林づくりと、林道や作業道等の林業基盤の整備を図ります。
- ▶ 「県民の森」を中心とした野外レクリエーション施設や体験型施設との連携を進め、豊かな自然と調和した良好な自然体験拠点として整備を図ります。
- ▶ 地域医療の維持や水道の整備拡充等を図り、安心して暮らせる環境づくりに努めます。
- ▶ 集落や農地を保全するため、合併処理浄化槽の普及等による生活排水対策を推進します。
- ▶ 農産加工センター等の整備拡充を図り、農産物や林産物を活かした加工業の創出や育成に努めます。
- ▶ 歴史文化資源等を活用した交流拠点の整備を図り、既存の体験学習施設との連携を推進します。

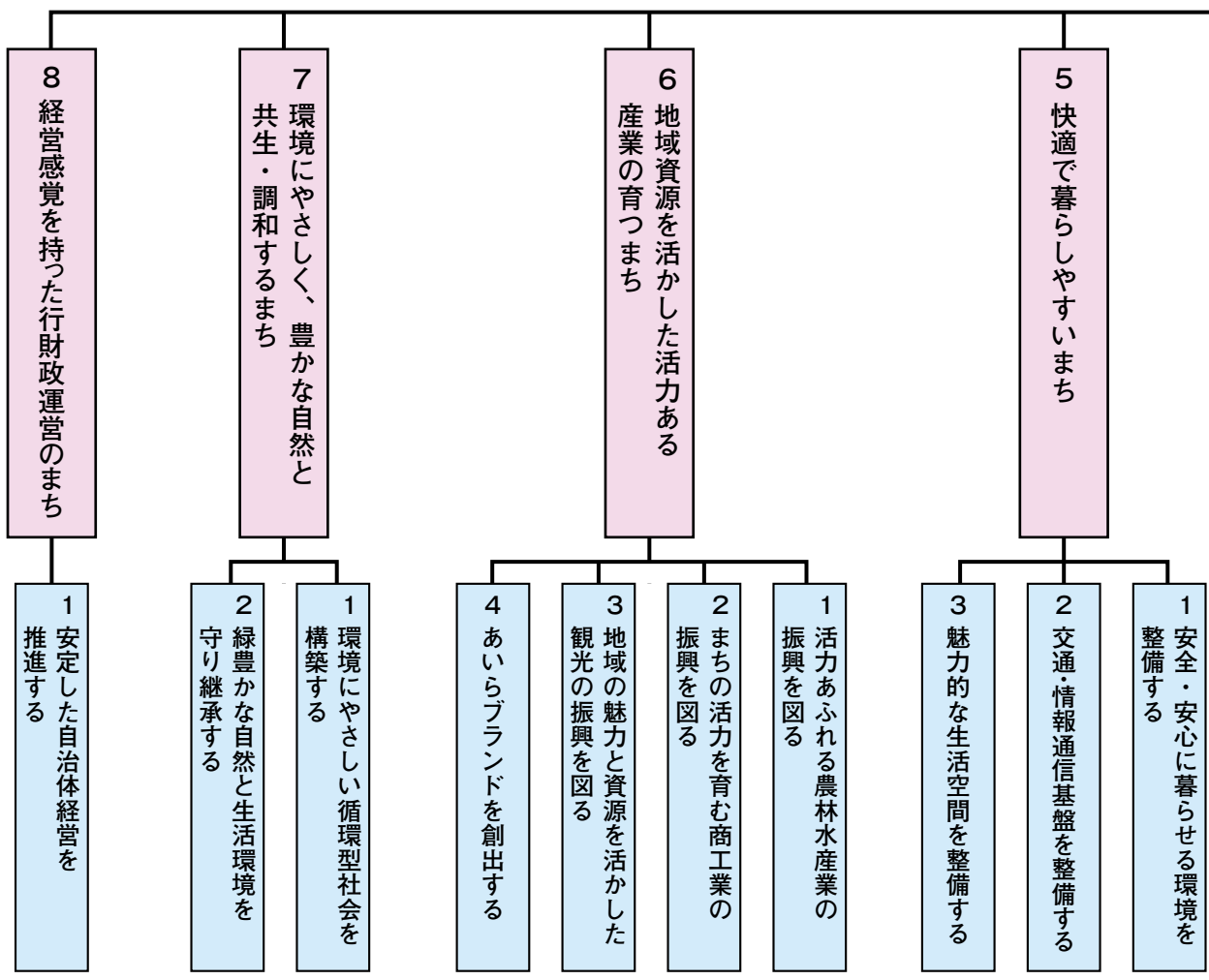


- ▶ 携帯電話通信環境の整備による生活の利便性の向上や、安全で安心な生活環境の構築のため、通信事業者への協力要請や関係機関と連携を図ります。
- ▶ 内水面漁業は、河川の水質汚濁防止の啓発に努め、アユやウナギなどの稚魚放流による保護や繁殖を図ります。

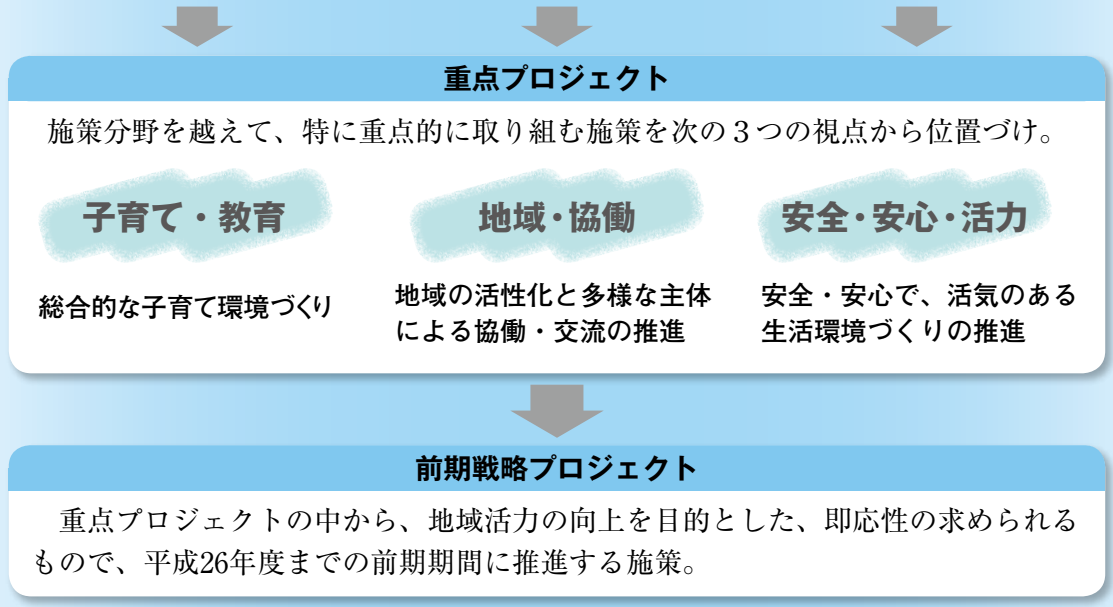
\*グリーン・ツーリズム…農村や漁村での滞在型休暇のことで、都市住民が農家などに宿泊して農作業を体験したり、その地域の歴史や自然に親しむ余暇活動のこと。

● 総合計画の体系図

【基本理念】  
県央の良さを活かした、



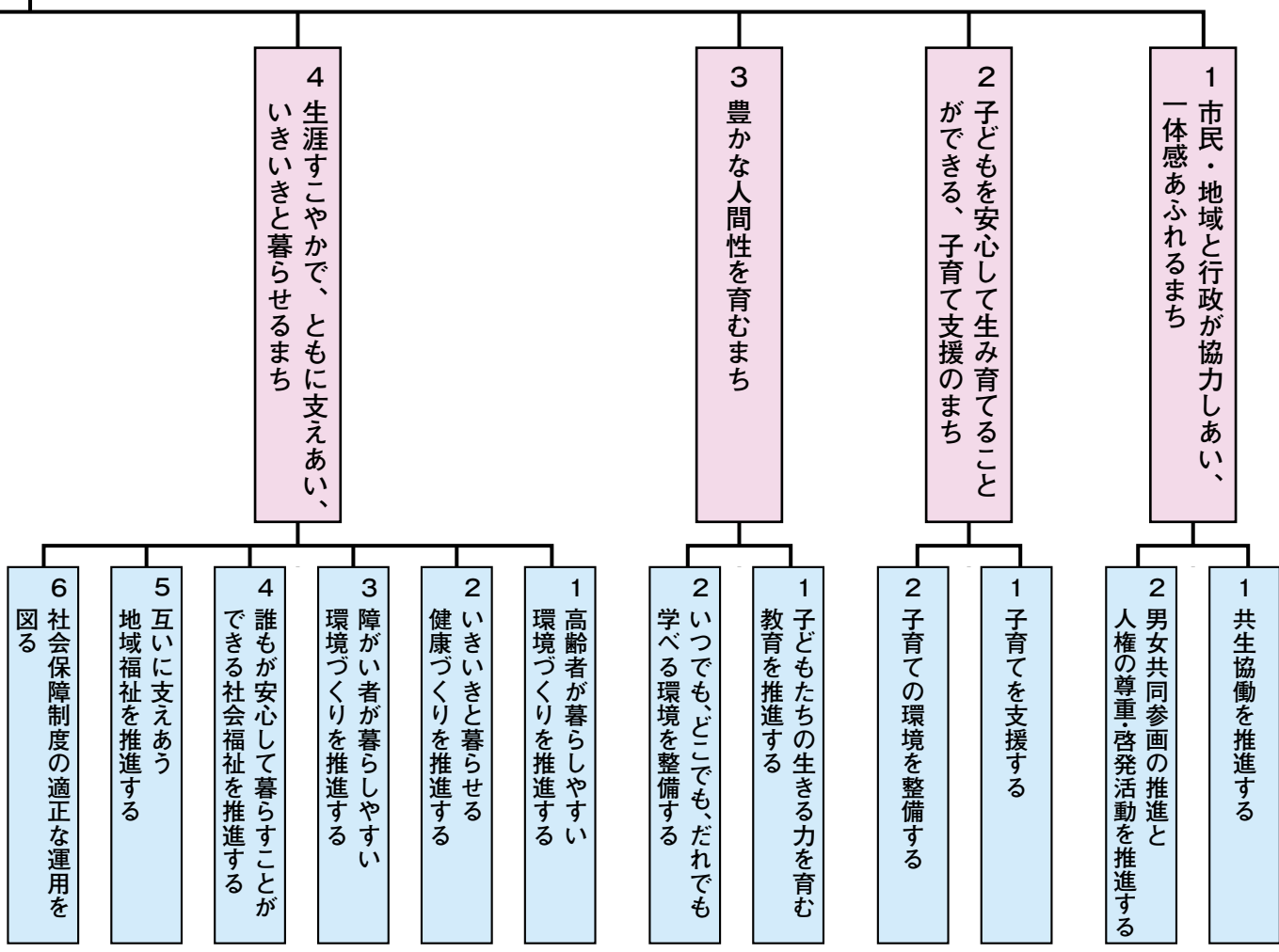
● 将来像別基本計画の8項目の実施 ●



# 県内一くらしやすいまちづくり

## 将来像

## 基本方針



## 重点プロジェクト

基本計画では分野ごとに8つの将来像の実現に向けた施策の具体的な取り組みなどを示しますが、その中でも特に「子育て・教育」「地域・協働」「安全・安心・活力」という3つの視点から、施策分野を越えて重点的に取り組む施策を、重点プロジェクトとして位置づけました。

### (1) 総合的な子育て環境づくりの推進

- (仮称) 松原小学校の建設
- 子育てに係る費用負担の軽減
- 若者定住促進住宅の建設 (山田地区、永原地区)
- 男女共同参画社会の推進
- (仮称) あいら子育て支援センターの整備 (親子つどいの広場、養育相談等)
- 小児救急医療体制の整備と充実
- 保育所の待機児童の解消
- 各種保育サービスの推進 (病児・病後児保育への取り組み等)



### (2) 地域の活性化と多様な主体による協働・交流の推進

- 集落支援員制度\*等 (国支援事業) の活用による地域活性化の推進 ((仮称) まちづくり支援員の配置等)
- 市内の農林水産物や特産品を販売する物産館の整備
- 高齢者の交流の場づくりの推進 (高齢者いきいきサロンの拡充)
- 中部地域横断道路の建設による市民交流基盤の整備 ((仮称) 山田口・木田線の新設)
- 住民ニーズに合った公共交通システムの拡充
- 地域の人材の発掘と活用 (人材データバンクの作成)
- 農林水産物生産の活性化による「あいらブランド」の確立



\* 集落支援員制度…地方自治体 (県・市町村) からの委嘱を受け、市町村職員とも連携しながら、集落への「目配り役」として、集落の巡回、状況把握等を行う。集落点検の実施、住民と住民、住民と市町村との間での話し合いを促進するなど、市町村職員や集落住民とともに、集落対策を推進する制度で総務省が平成20年に創設した。

### (3) 安心・安全で、活気のある生活環境づくりの推進

- あいら斎場の建て替え
- 消防庁舎の建て替え
- 防災行政無線の整備（デジタル化）
- 24時間体制での緊急通報体制等整備事業（コールセンター方式）の充実
- 一次医療圏\*の整備と夜間救急医療体制の充実
- 悠久の森の再生による環境保護と水資源の涵養
- 新たな水源の確保に向けた調査
- 始良市土地開発公社との連携による企業誘致や雇用の創出
- 家庭用太陽光発電システム導入補助制度の創設
- スマートインターチェンジの整備
- 耐震診断補助金および耐震改修補助金制度の創設



## 前期戦略プロジェクト

地域活力の向上を目的とした即応性のある取り組みで、平成26年度までの前期期間に推進する施策です。

- 集落活性化助成制度の創設（存続が危ぶまれる中山間地域等への転入者等に支援）
- 若者定住助成制度の創設（各小学校の児童数減少対策として転入者等に支援）
- まちおこしに関する企画提案に対する助成制度の創設
- グリーン・ツーリズム等を活用した体験や交流による、都市部と農村部の交流の推進
- 市民農園の創設による農業体験と市民間交流の促進
- プレミアム商品券\*による商店街の活性化の推進（新市商工会発足時）
- 楽しく賑わう商店街づくり事業の推進（イルミネーション設置補助）
- 空き店舗を活用した起業に対する支援（トライアル・ショップ制\*の導入）
- 市内周遊観光バス「あいらびゅー号」の運行等による観光振興の推進
- 市特産品協会が行う新たな特産品開発への支援
- 各種イベント開催による交流人口増加対策の推進
- 原木シイタケや早掘りタケノコのブランド化の推進



\*一次医療圏…身近な医療を提供する医療圏で、医療法では規定されていないが、保健所や介護保険制度等との兼ね合いから、市町村を単位として設定されている。

\*プレミアム商品券…購入額に一定金額を上乗せした、地域限定で利用できる商品券のこと。

\*トライアル・ショップ…熱意と独創性にあふれる事業者により、独創的なアイデアで新規創業や新商品・新サービスの開発等による新たな業種・業態への転換を図るため、空き店舗等で新たに開店する店のこと。

自然と共存する始良



## あなたも、始良市の まちづくりに参加しませんか

～アイメール～ 市政に対する市民の皆様からのご意見やアイデアなどをお待ちしています。

◇携帯電話から

QRコードを読み込むと、アドレスの入ったメール入力画面が表示されます。

件名に簡単な内容(空欄でも可)と本文にご意見やアイデアなどを入力して送信ください。

メール送信先: koho@city.aira.lg.jp

\*QRコードが読み取れない場合には、直接上記のアドレスを入力して送信ください。



第1次始良市総合計画 概要版 (平成24年4月)



お問い合わせ先

始良市 企画部 企画政策課

〒899-5492 始良市宮島町25番地

TEL (0995) 66-3111 FAX (0995) 65-7112

E-mail: kikaku@city.aira.lg.jp

ホームページで詳しい内容をご覧ください。 <http://www.city.aira.lg.jp/>